

比内中学区

1 はじめに

今年度は、これまでの比内地区の連携研究会の経緯をふまえ、研究テーマを「意欲的に学び、豊かな心と確かな学力を身に付け、ふるさとに根ざす比内の子どもを育てる小・中連携はどうあればよいか」とした。「基礎学力の向上」「豊かな心の育成」「ふるさと・キャリア教育」の共通実践事項の取組にあたっては、児童生徒の実態・状況に応じた9年間にわたる育成の視点をもって進める事とした。

2 今年度の取組

月 日	実 践 内 容	月 日	実 践 内 容
5月20日	小・中連携研究会実行委員会 (東館小)	11月4日	比内中体験入学交流会(比内中)
	・事業計画作成と第1回小中連携研究会の事前打合せ	11月22日	第2回小中連携研究会(東館小)
6月1日	第1回小中連携研究会(比内中)		・授業参観, 分科会課題別協議, 情報交換等
	・授業参観, 全体会, 協議, 情報交等	1月24日	比内中新入学児童学級編成会議

3 活動の実際

(1) 第1回比内中学校区小・中連携研究会(比内中会場)

- ① 授業参観(全学級)
- ② 全体会(会場校校長あいさつ・会員・学校評議員紹介)
- ③ 分科会(各小学校出身の生徒の様子, 情報交換)

※比内中学区合同学校評議員会も併せて行う。

(2) 第2回比内中学校区小・中連携研究会(東館小会場)

- ① 授業参観(全学級)
- ② 全体会(会場校校長あいさつ)
- ③ 分科会(学力向上, 生徒指導, 小学校外国語活動, 特別支援教育, ふるさと・キャリア教育の5分科会で, 各小・中学校から話題提供した。)



【第2回研究会・授業参観より】

・学力向上分科会

「ねらいにせまるための関わり合い(学び合い)の工夫と評価問題の実施について」
比内中より話題提供があった。各小・中学校とも、その授業時間のねらいを達成するために、全員に効果が表れるような場の設定(ペアやグループ学習)を工夫している。また、その授業時間内で、必ず評価問題まで行えるような指導過程の工夫について話し合われた。

・生徒指導分科会

「地域を明るくする元気なあいさつの励行」
大葛小学校より話題提供があった。各小・中学校ともPTAやスクールガードと連携して、校外でも元気なあいさつができるように努めている。校外でのあいさつは、以前よりも徐々によくなってきているが、今後も継続して指導に努めていく必要がある。

・小学校外国語活動分科会

「外国語活動の指導の実際と課題」
西館小学校より話題提供があった。各校ともALTとの教材打ち合わせ等の時間確保で大変な面がある。各校の取組や、研究授業等を地区の小・中学校で見合うようにしていければよいのではないかと。

・特別支援教育

「児童の実態・特性に合わせた支援のあり方と今後の小・中連携のあり方」
扇田小学校より話題提供があった。小学校の特別支援学級在籍児童が、中学校の特別支援学級にこれから体験入学する予定の学校もある。中学校進学にあたっては、保護者・本人としっかり話し合って、選択肢を広げるように配慮していきたい。

・ふるさと・キャリア教育

「学習のまとめと地域への発信」
東館小学校より話題提供があった。ふるさと教育の中にキャリア教育の視点を取り入れることで、今まで以上に児童・生徒につけたい力が明確になってきた。児童生徒のキャリア発達を促すためにも、小・中のさらなる連携が大切になってくるので、その体制や組織づくりが急務である。

4 おわりに

1中学校、4小学校の教師が集まる小・中連携研究会は、比内の教育について、子どもの実態を基に9年間を見通して、共通実践事項を設定し、その状況について年に2回、協議をしたり、情報交換を行ったりする貴重な機会である。比内地区の子どもたちが抱える課題について、今後も各校と連携して対処していきたい。今年度の分科会で出された課題については、引き続き次年度に検討を加えていきたい。